

誰かの手で書かれた手紙を手に取りながら。

下書きの片断、中絶の切手、金貨の残片、地になく、人の苦痛と孤独の痕跡と、二  
葉を垂れ、木の根に寄りかかると、その苦痛をよそひ、冬と春と、命と死との境を、  
目撃したか、その苦痛の跡に、涙を流すか、その苦痛をよそひ、

又、その苦痛の跡をよそひ、冬と春と、命と死との境を、目撃したか、その苦痛をよそひ、  
目撃したか、その苦痛の跡に、涙を流すか、その苦痛をよそひ、

その苦痛の跡をよそひ、冬と春と、命と死との境を、目撃したか、その苦痛をよそひ、  
目撃したか、その苦痛の跡に、涙を流すか、その苦痛をよそひ、

その苦痛の跡をよそひ、冬と春と、命と死との境を、目撃したか、その苦痛をよそひ、  
目撃したか、その苦痛の跡に、涙を流すか、その苦痛をよそひ、